

「兵庫行動枠組 2005－2015」～災害に強い国・地域の構築～

Hyogo Framework for Action 2005-2015 (HFA): Building the Resilience of Nations and Communities to Disasters

I 概要

- ・ 「兵庫行動枠組」は、自然の脅威に対する脆弱性を軽減し、災害に強い国・コミュニティを構築するための具体的な方法を特定する。

II 期待される成果及び戦略目標

災害による人的被害、社会・経済・環境資源の損失が実質的に削減するため、次の3つの戦略目標を設定する。

- a) 持続可能な開発の取組みに減災の観点をより効果的に取り入れる。
- b) 全てのレベル、特にコミュニティレベルで防災体制を整備し、能力を向上する。
- c) 緊急対応や復旧・復興段階においてリスク軽減の手法を体系的に取り入れる。

III 2005－2015 の優先行動

全ての国が防災活動の一義的な責任を有する、コミュニティの防災対応能力を高めるといった一般的配慮事項を定めた上で、次の5分野ごとに具体的優先行動を設定。

1. 防災を国、地方の優先課題に位置づけ、実行のための強力な制度基盤を確保する。
国レベルの制度的、法的枠組の整備など
2. 災害リスクを特定、評価、観測し、早期警報を向上する。
国及び地方レベルの災害リスク評価（リスクマップの整備・普及、災害リスクや脆弱性の評価指標の体系整備等）など
3. 全てのレベルで防災文化を構築するため、知識、技術革新、教育を活用する。
情報交換、研究、意識啓発（防災教育やメディアの取組み促進）など
4. 潜在的なリスク要因を軽減する。
重要な公共施設・インフラの耐震性の向上
災害復興段階における災害リスク軽減策の実施（*） など
5. 効果的な応急対応のための事前準備を全てのレベルで強化する。
全てのレベルにおける緊急事態対応計画の準備、防災訓練など

IV 実施とフォローアップ

- ・ 国、地域機関、国際機関（ISDR等）など関係主体ごとの取組方針を設定。
- ・ 本行動枠組の実施の支援に必要な資源を動員するための各国、地域・国際機関による多面的な仕組みを通じ、防災のための資金を適切に動員する。

*国際復興支援プラットフォーム（IRP）が2005年に兵庫県神戸市に設立される。